

ハンドリフト 取扱説明書

取扱説明書適合型番

型番：CBY25-II/CBY15-II
EP20-II/EP15L

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、本書は大切に保管し、わからない時は再読してください。

小型 1.5トン EP20-II
1.5トン CBY15-II
大型 3トン CBY25-II





低床 1トン EP15L

- 安全にお使いいただくために 1ページ
- 使用上のご注意 2ページ
- 製品仕様・各部の名称 3ページ
- 操作方法 4ページ
- 定期点検及びメンテナンス 4ページ
- オイル交換 5ページ

株式会社 コメリ
Tel 025-371-4805
<http://www.komeri.com>
MADE IN CHINA

安全にお使いいただくために

⚠ 警告 ⚠ 注意 の意味

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

安全上のご注意

けがの事故を未然に防ぐため、次に述べる安全上のご注意を必ず守ってください。
ご使用前に、この安全上のご注意すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

- 絶対に本機を改造しないでください。異常動作して思わぬけがをする恐れがあります。
- 絶対に人を乗せないでください。転落など思わぬけがをする恐れがあります。
- 本機を操作する際に車輪の動きに注意してください。足をふまれて思わぬけがをする恐れがあります。
- 絶対に体の一部を本機の下に入れないでください。本機と地面に挟まれ思わぬけがをする恐れがあります。
- 絶対に耐荷重を越えないでください。本機の故障の原因となります。
- 不安定な場所で使用しないでください。積荷が落下し破損する原因となります。
- 傾斜地では使用しないでください。思わぬ暴走などにより周囲の人や物品に損害を与える恐れがあります。
- フォーク先端部をジャッキ代わりに使用しないでください。本機の故障の原因となります。



注意

- 操作に不慣れな人は本機を操作しないでください。誤操作により周囲の人や物品に損害を与える恐れがあります。
- 本機のフォーク長に合ったパレットを使用してください。合わないパレットを使用すると正常な運搬ができない恐れがあります。
- パレットや積荷は本機のフォークに対し荷重が均等にかかるようにしてください。バランスが悪いと積荷が落下し破損する原因となります。
- 本機を使用しない時はフォークの位置を最下部まで下げておいてください。思わぬけがや本機の故障の原因となります。

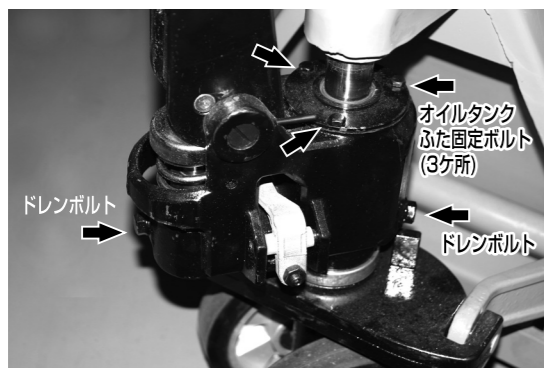
点検及びオイル交換記録

年 月 日	点検及びオイル交換

オイルの点検方法

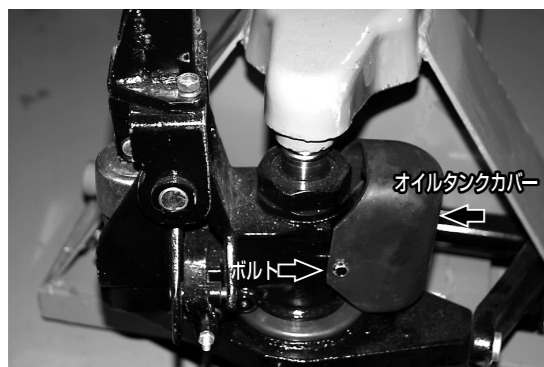
注意 オイル点検は必ずフォークを下降させた状態で行ってください。
 オイルは4ページに記載してある推奨オイルをご使用ください。

小型1.5トン EP20-II 1.5トン CBY15-II 大型 3トン CBY25-II の場合

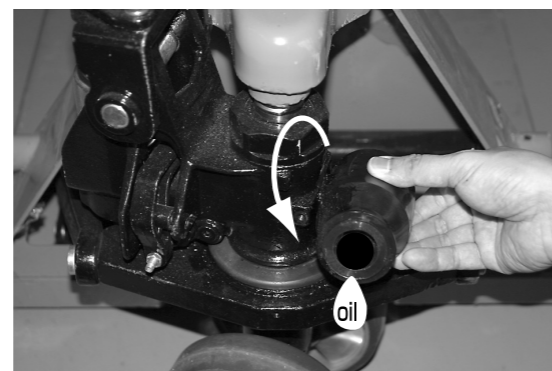


- 1 オイルタンクふた固定ボルト(3ヶ所)を外します。
 - 2 オイルタンクふたを上にあげて点検します。
 - 3 オイルタンクの $\frac{2}{3}$ くらいまでオイルを補充してふたを固定します。
- ※オイルを抜く場合はドレンボルトを外して抜いてください。このときオイルが周囲にこぼれないように受け皿等を用意してから行ってください。

低床 1.5トン EP15L の場合

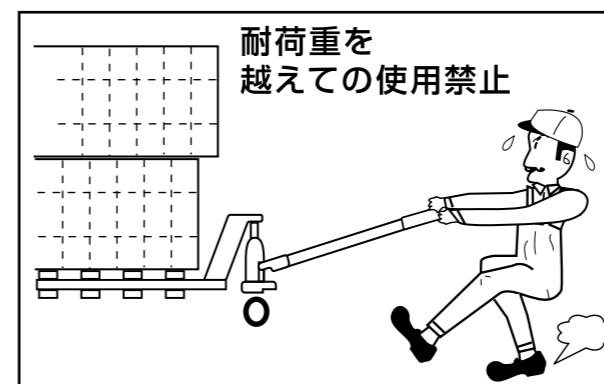


- 1 オイルタンクカバーの固定ボルト(2ヶ所)を外します。
 - 2 オイルタンクふたを取り外し点検します。
 - 3 オイルタンクの $\frac{2}{3}$ くらいまでオイルを補充してふたを取付け、オイルタンクカバーを固定します。
- ※オイルを抜く場合はオイルタンクを回転させてください。このときオイルが周囲にこぼれないように受け皿等を用意してから行ってください。



使用上のご注意

警告



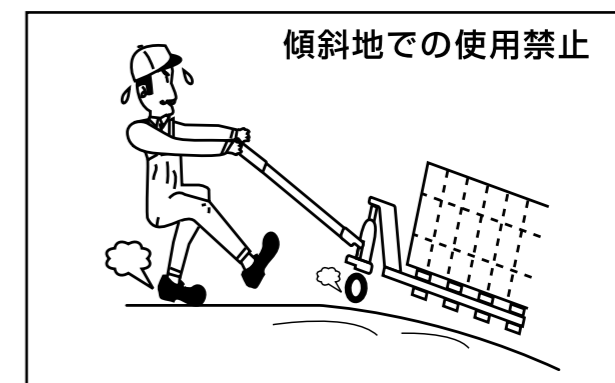
●絶対に耐荷重を越えないでください。本機の故障の原因となります。



●不安定な場所で使用しないでください。積荷が落下し破損する原因となります。

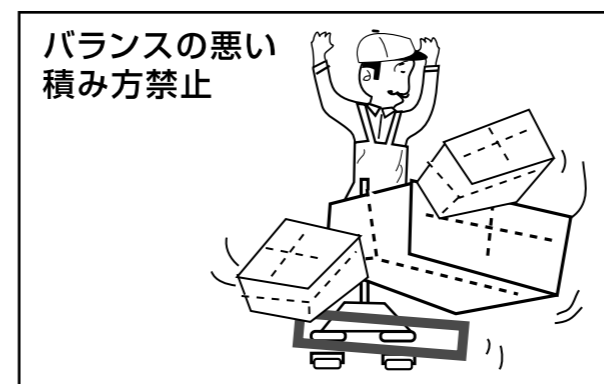


●フォーク先端部をジャッキ代りに使用しないでください。本機の故障の原因となります。



●傾斜地では使用しないでください。思わぬ暴走などにより周囲の人や物品に損害を与える恐れがあります。

注意

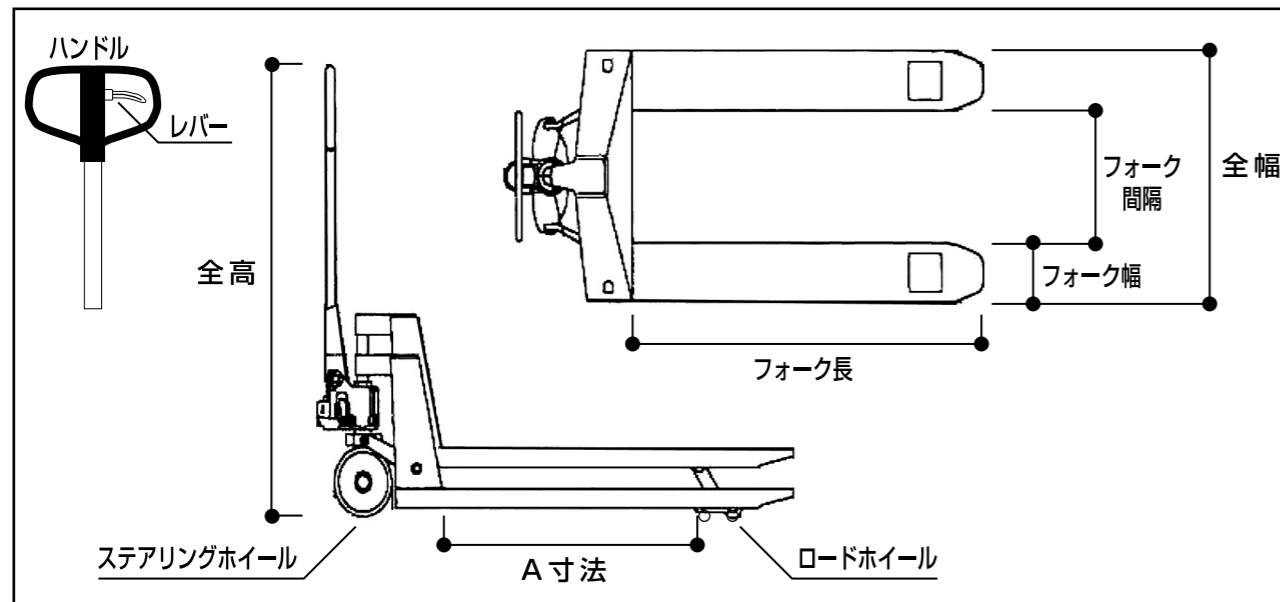


●パレットや積荷は本機のフォークに対し荷重が均等にかかるようにしてください。バランスが悪いと積荷が落下し破損する原因となります。

製品仕様

型番	EP15L	EP20-II	CBY15-II	CBY25-II
耐荷重	1000kg	1500kg	1500kg	3000kg
フォーク最高対地上高	140mm	205mm	205mm	205mm
フォーク最低対地上高	51mm	85mm	85mm	85mm
フォーク長	1150mm	900mm	1150mm	1220mm
フォーク幅(1本)	160mm	160mm	160mm	160mm
全幅	540mm	540mm	540mm	685mm
全高	1200mm	1200mm	1200mm	1200mm
フォーク間隔	220mm	220mm	220mm	365mm
最高高度時A寸法(下図参照)	800mm	550mm	800mm	870mm
最低高度時A寸法(下図参照)	850mm	590mm	840mm	910mm
ロードホイール (2個×2)	φ47×70mm スチール	φ78×70mm ナイロン	φ78×70mm ポリウレタン	φ78×70mm ポリウレタン
ステアリングホイール	φ150×40mm ポリウレタン	φ180×50mm ゴム	φ180×50mm ポリウレタン	φ180×50mm ポリウレタン
本体重量	76kg	80kg	95kg	105kg

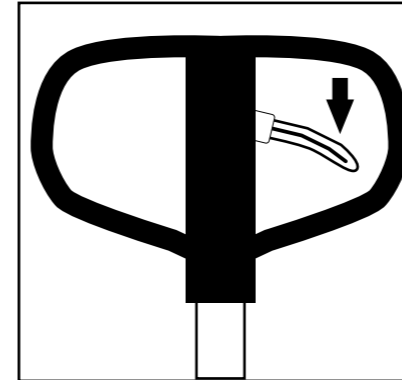
各部の名称



基本的な操作方法

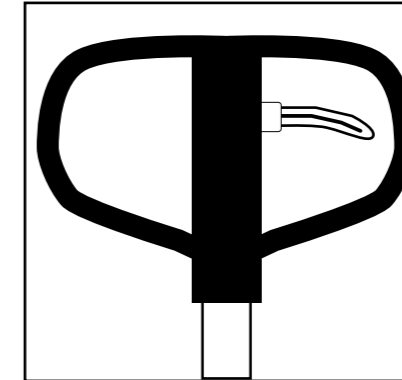
ハンドルレバーの操作／下図のように3つのポジションによりフォークの昇降をします。

フォーク上昇ポジション



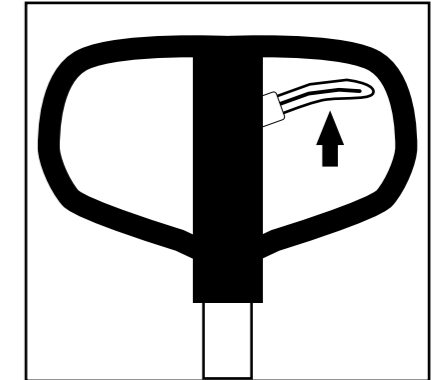
●この位置でハンドルを上下に往復させることによりフォークは上昇します。

中間ポジション



●この位置でフォークの高さは維持され、積荷の移動ができます。

フォーク下降ポジション



●レバー上に引き上げた状態で握るとフォークが下降します。

注意 フォークを下降させるときは、レバーをゆっくり握ってください。一気に握ると急激に下降して荷崩れの原因となります。

定期点検及びメンテナンス

日常点検／下記に従って点検及びメンテナンスをしてください。

- 油圧ポンプの作動とオイルもれ点検
- 車輪への糸くず、金くず等の巻きこみ除去
- フレームの曲り、歪み点検

潤滑油の補充／回転部分にはグリスを定期的に補充してください。

油圧ジャッキ部のオイル点検／6ヶ月毎にオイル点検をしてください。

- 推奨オイル
気温-5℃～+45℃の環境では「コンプレッサーオイル(ISO VG68級)」
気温-15℃～-5℃の環境では「マシンオイル(ISO VG46級)」

※オイルの点検方法は5ページを参照してください。